

# かしま 議会だより

第115号

令和5年9月定例会号

令和5年11月発行

発行／鹿島市議会 編集／議会だより編集委員会  
〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



有明海のラムサール条約登録湿地の海岸清掃！  
ONE有明ビーチクリーン開催！  
(10月28日、新籠海岸)

9月定例会	P2～P3
議案審議	P4～P5
環境未来都市特別委員会活動報告	P5
一般質問(14名)	P6～P13
議会報告会の開催について	P13
討論	P14
決算審査特別委員会報告	P15
議会あれこれ/議長交際費	P16



鹿島市のホームページもご覧ください。

鹿島市議会

検索



鹿島市議会  
令和5年9月定例会 会期日程

1、会期  
自 令和5年9月8日  
至 令和5年10月11日

2、日程

- 【9月】
- 8日・開会  
・会議録署名議員の指名  
・会期の決定  
・議案の一括上程  
(市長の提案理由説明)
- 9日・休会
- 10日・休会
- 11日・休会(議案研究)  
(一般質問 発言内容通告締切)
- 12日・休会(議案研究)
- 13日・休会(議案研究)
- 14日・決算説明、委員会付託、  
議案審議、質疑、討論、採決
- 15日・議案審議、質疑、討論、採決
- 16日・休会
- 17日・休会
- 18日・休会
- 19日・休会(議案研究)
- 20日・休会(議案研究)
- 21日・決算審査特別委員会(開会、現地調査)
- 22日・決算審査特別委員会  
(一般会計/総務部ほか、建設環境部)
- 23日・休会
- 24日・休会
- 25日・休会
- 26日・休会(議案研究)

- 27日・決算審査特別委員会  
(一般会計/教育委員会、市民部、産業部ほか)
- 28日・決算審査特別委員会  
(特別会計、公営企業会計、討論、採決)
- 29日・休会(議案整理)
- 30日・休会
- 【10月】
- 1日・休会
- 2日・休会(議案整理)
- 3日・一般質問(4名)
- 4日・一般質問(4名)
- 5日・一般質問(3名)
- 6日・一般質問(3名)
- 7日・休会
- 8日・休会
- 9日・休会
- 10日・休会(議案整理)
- 11日・委員会報告、議案審議  
・質疑、討論、採決  
・閉会

# 次のことを審議し決定しました

【令和5年9月定例会】

議案番号	議案内容	釘尾勢津子	宮崎 幸宏	笠継 健吾	中村日出代	池田 廣志	杉原 元博	樋口 作二	中村 一堯	松田 義太	勝屋 弘貞	角田 一美	伊東 茂	福井 正	松尾 征子	中村 和典	徳村 博紀	採決結果	
議案第33号	令和4年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	認定
議案第34号	令和4年度鹿島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	認定
議案第35号	令和4年度鹿島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	認定
議案第36号	令和4年度鹿島市給与管理特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	認定
議案第37号	令和4年度鹿島市水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	認定
議案第38号	令和4年度鹿島市下水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	認定
議案第39号	鹿島市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	可決
議案第40号	鹿島市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び鹿島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第41号	鹿島市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第42号	令和5年度鹿島市一般会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議長	賛成全員	可決
議案第43号	令和5年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議長	賛成全員	可決
議案第44号	第七次鹿島市総合計画の基本構想及び基本計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議長	賛成全員	可決
議案第45号	佐賀県市町総合事務組合規約の変更に係る協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議長	賛成全員	可決
議案第46号	鹿島市教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議長	賛成全員	同意

○・・・賛成 ×・・・反対 退・・・退席 欠・・・欠席

# 議案 審議

議案第33号

令和4年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について



松尾 征子議員

質問 横田堤が整備され、きれいになった。しかし、後に残った堤のところはそのままの状態で、住宅地として民間に売り渡す

とのこと。

周辺は学校・放課後児童クラブ・市民グラウンド・旭ヶ岡公園などがある。民間に売却でなく、鹿島市有地で残り、広場か公園にすること。整備に一億円かかるというけどだが、一億円かかってもし民のためには良い。

答弁 整備するには金がかかる。人口も減ってきている。整備は慎重に進めなくてはいけない。いろんな環境、そういうことを含め進めてきた。松尾議員の言われた話は一つの考えとして受け止めて、どうするかと進めていきたい。

議案第42号

令和5年度鹿島市一般会計補正予算(第3号)について



笠継 健吾議員

質問一 地方債の残高は、令和4年度末より令和5年度末見込額は約11億円増加し総額140億33百万円となっている。

その要因はなにか。  
答弁 総務費が約11億円増加しており、これは鹿島市民文化ホールの建設に伴う起債増が主因である。

担額はどうか  
答弁 令和5年度末の市債実質負担額は、臨時財政対策債・県貸付金・交付税措置分を差引、約56億円を見込んでいます。

質問二 市債総額見込は140億円程となるが、市債の実質負担額で将来への戦略を考えて行くべきと思う。市債の実質負

議案第44号

第七次鹿島市総合計画の基本構想及び基本計画の変更について



中村 一堯議員

第七次総合計画の変更について

質問 今回の第七次総合計画の変更では、SDGsやDXについて新たに

取り入れられ、西九州新幹線を活用した誘客の促進が追記されている。松尾市長のこういった思いが込められているか。

答弁 社会情勢の変化、災害の常態化、鹿島市の人口減少の中で新たに持続可能なまちづくりに向けて総合計画を見直している。SDGs、ゼロカ

arbonシティ、DXなど国の施策にいち早く対応して鹿島市の発展に努め、西九州新幹線については広域連携して近隣の自治体と一緒にやっていく思いを込めている。今後も予算も総合計画に沿って迅速かつ丁寧に取り組んでいく。

議案第44号

第七次鹿島市総合計画の基本構想及び基本計画の変更について



伊東 茂議員

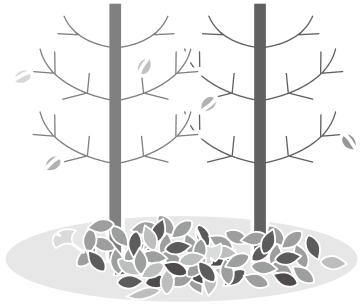
質問一 総合計画審議会の委員から「DX事業、SDGsの横文字は説明出来ず、難しい。」と指摘されている。加えて、

これらの事業は効果が表れるまで時間を要する。市民は物価高騰など目の前の問題解決を望んでいる。

ついて根気よく説明していく。

質問二 総合計画の事業予算、事業の進捗・達成度などを行政は市民に説明する義務がある。

答弁 新しい事業の取組については市報など通じて丁寧な説明を行う。DX、SDGsを推進することで証明書の発行の簡素化や市民生活の向上に



## 環境未来都市特別委員会活動報告 地域温暖化防止活動推進センター視察

令和5年  
7月31日

環境未来都市特別委員会は、鹿島市が進めるゼロカーボンシティへの道程を共に歩むため、市議会も共に学び、政策を共に考え、進言するために設置された。七月下旬、手始めにカーボンニュートラルの基礎を学ぶため佐賀県地球温暖化防止活動推進センターを訪ねた。ここは特定非営利活動法人温暖化防

止ネットが佐賀県知事の指定を受けて運営されており、県が主催する環境活動を集約する施設となっている。

事業テーマは、①環境問題への意識変容を促す事業②地球温暖化防止活動への行動変容を促す事業③地球温暖化防止活動の担い手をサポートする事業④地域内での連携した推進体制を構築する事業として幅広く活動し、佐賀市の環境政策も委託を受けて事務局として活動している。鹿島市は、県や佐賀市に負けないくらい幅広い環境政策に取り組んでおり、少ない人員で頑張っているなど感じた。





# 一般質問に14人が登壇しました

## 一般質問のYouTube動画配信!

10月3日、4日、5日、6日に行われた一般質問のYouTube動画を観ることができます。

【10月3日】



福井 正 議員  
松尾 征子 議員



杉原 元博 議員  
中村 日出代 議員

【10月4日】



釘尾勢津子 議員  
笠継 健吾 議員



宮崎 幸宏 議員  
樋口 作二 議員

【10月5日】



池田 廣志 議員  
松田 義太 議員  
伊東 茂 議員

【10月6日】



中村 和典 議員  
角田 一美 議員  
勝屋 弘貞 議員



松尾 征子 議員

### 鹿島市に病児・病後児保育所を

**質問** 鹿島には病児・病後児保育所がない。隣接市町に委託している。

**また夜間休日診療については市内の子供クリニックで週一回。あとは武雄市に委託されている。この問題は以前から議会で取り上げられてきた。まったく進展がない。これまでどのような取り組みがされ、できない原因は何なのか。**

**答弁** 鹿島市においては、市内で対応できる医療機関がないので、市外の3施設、嬉野市、江北町、武雄市と契約している。病後児保育は医療機関の支援が必要であり、看護師等の人的な配置に加え、専用の部屋を確保する必要があります。また、利用児童の変化が大きいので、経営上の問題から、なかなか取り

組みにくい。市内への設置については、病後児保育に対する大きな期待がある。病後児保育に対するニーズがあるため、市内の医療機関への設置の働きかけを行ってきた。市内の開設は進めたい。経営上の問題など取り組みにくい。希望される医療機関もあるので、支援をしていきたい。

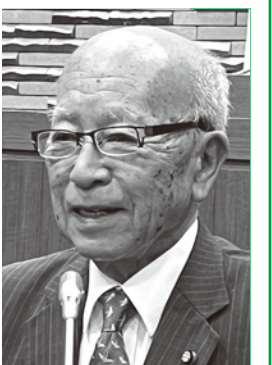
**質問** 飼育猫が子供を産んで増えて困っている。野良猫問題を含めて、市内の現状と、地域猫活動についてどのようなものか。

**答弁** 猫は繁殖力が強い。妊娠期間は2ヶ月。その後約2ヶ月で子猫が離乳すると妊娠可能になる。子猫は生後六ヶ月で妊娠可能年齢になる。鹿島市内には飼育猫が公園等が増えすぎて問題になっている所が二十ヶ所ある。以前は保健所が野良猫を引き取っていたこともあった。今は動物愛護法により、殺処分ゼロを目指し、引き取らない方針。県は地域猫活動を推進している。鹿島市はボランティア団体と連携して地域猫活動を推進している。団体の方々は、猫を捕獲して手術をし、元の場所に戻した後は、アフターケアなど良くしていただき、感謝している。



**質問三** 子育て総合相談センターの業務内容と福祉課との役割分担・連携について聞く。

**答弁** コロナ禍前は年間一万九千件の利用があったがコロナ禍では一万件を切る状況。本年は利用制限を撤廃し増加傾向。育児相談や子どもの健康・発育に関する相談が多い。



福井 正 議員

### これからの鹿島市の教育について

**小中学校の不登校の状況と対策について**

**質問** 鹿島市の小中学校の状況は。

**答弁** 不登校の状況は30日以上登校しない状態をいう。令和5年度は小学校11名中学校35名である。要因として無気力、昼夜逆転、友人関係、登校のエネルギーが少ないことが要因。対策として不登校児童生徒への環境整備、カウンセラーによる対応。子どもの気持ちに寄り添うこと。学習できる場を作っている。

**小中学校でのイジメの状況について**

**質問** イジメはイジメられた児童生徒にとつて、トラウマとなり不登校の原因にもなる可能性がある。イジメの状況と対策は。

**答弁** 喧嘩やイタズラもイジメとなる。対策としてイジメを早期発見し対処することが必要。児童生徒への聞き取りやアンケート調査をしている。まわりの子どもたちに傍観者でなく先生などに伝えるように指導している。

**オンライン教育について**

**質問** 新型コロナウイルス感染症時に、教室での授業が困難となり、リモート授業が行われた。今後長期入院や不登校の児童生徒たちにリモートによる授業があるのか。

**答弁** ひとり一台タブレットを貸与している。保護者の同意があれば、病院や、欠席した児童生徒に対してリモートで授業が受けられる。保護者などから家で勉強できて

よかったとの声がある。

**少子化傾向の鹿島市の教育施設整備について**

**質問** 鹿島市も少子化の状態である。その状況で今後の学校整備がどうなっていくのか。学校統合があるのか。

**答弁** 学校統合は検討していない。

**小中学校のスポーツや文化活動の今後について**

**質問** 小中学校のスポーツや文化活動指導が教職員から地域での指導に移行するそうだが、どうなるのか。

**答弁** これは教職員の働き方改革の一環で地域の指導者に移行する予定。



杉原 元博 議員

### こども、子育て世帯の支援について

**質問一** こども家庭庁設置で、福祉政策面と学校教育面でどう変わってきているのか。

**答弁** 現時点で大きく変わっていないが、今後こども家庭センターの設置を検討していく。教育面は関係機関と連携し子ども達や保護者が抱える問題解決に繋がる取り組みを進める。

**質問二** 子育て支援センターの利用状況と相談内容について聞く。

**答弁** コロナ禍前は年間一万九千件の利用があったがコロナ禍では一万件を切る状況。本年は利用制限を撤廃し増加傾向。育児相談や子どもの健康・発育に関する相談が多い。

**質問三** 子育て総合相談センターの業務内容と福祉課との役割分担・連携について聞く。

**答弁** コロナ禍前は年間一万九千件の利用があったがコロナ禍では一万件を切る状況。本年は利用制限を撤廃し増加傾向。育児相談や子どもの健康・発育に関する相談が多い。

**質問四** ファミリーサポートセンター事業の利用状況と課題について聞く。

**答弁** 令和4年度から利用料金の一部を市が助成し、利用件数は年間261件と増加した。課題は援助会員の育成と確保。

**質問五** こども未来戦略方針を受けて鹿島市の取り組みを聞く。

**答弁** 地域資源を活用した子育て支援事業の充実と子育てしやすい環境整備を図っていく。

**市営・県営住宅の現状と今後の活用について**  
**質問一** 市営住宅の今後の運営について聞く。

**答弁** 鹿島市住生活基本計画で、入居募集をしていない市営住宅は、現入居者の退去後、用途廃止後売却または払い下げの予定。

**質問二** 空き室の状況と受け入れ計画を聞く。

**答弁** 受け入れ可能な市営及び定住促進住宅で井手分住宅34戸、新方住宅12戸、古枝住宅33戸と空き室が多い。

**質問三** 入居申し込みと入居待ちの状況は。

**答弁** 執行分・末光住宅にそれぞれ1世帯、井手分住宅に8世帯の入居待ちの状況。

**質問四** 現状の課題と今後の対策について。

**答弁** 人口減少で空き家・空き室の増加が課題。民間の空き家・空き室を活用する制度を構築し、公営住宅とのバランスも検討する。





中村 日出代 議員

### 夏季における熱中症対策として ランドセル保冷パッドの配布を

**質問** 兵庫県たつの市の小学5年生の男子がたつの市長宛に「毎日暑い、ランドセルが重くフラフラします。汗をいっばいかいて背中がピシヨピシヨで頭がポツとします。対策グッズがほしいです」と訴えた。

**答弁** 兵庫県たつの市はランドセル用保冷パッドを全小学生に配布したとの報道があった。

**鹿島市でも熱中症対策としてランドセル用保冷パッドを配布し、一人の子どもも被害に遭わせない施策を執行し、児童の安全、安心の確保を。**

**質問一** 現在まで事業の

**答弁** 基本設計を行っていないので工事費概算はできない。

**質問二** 令和2年6月に委託した駅周辺整備全体構想概要版、基本計画の金額はいくらか。

**答弁** 全体構想、1859万円、基本計画は約3000万円である。

**質問三** 同じ施設の基本設計が重複していると疑問があるが。

**答弁** 県と市が業務分担し、事業者と協議を行い了承を得ている。

**質問四** 県は工事費として新駅舎、復元駅舎、交流施設で10億円程度。広場、駅前道路、他施設で10億円程度と、概算で総額25億円程度である。鹿島市の概算費は。



釘尾 勢津子 議員

### 市民の安心と 生涯現役社会の実現に向けて

**質問一** マイナンバーカード及びマイナ保険証の現状と課題について。

**答弁** 病気や身体等の障害がある方、施設入所者、長期入院者など、やむを得ない理由により来庁が困難である方については、出張申請受付ができる。

**他にも、病院やデイサービスに行かれる日を利用して、市役所の駐車場の車まで職員が出向き、直接本人確認等をさせて頂き、手続きは付き添いの方にしていたりなど、方法も取っている。**

**また、代理人による申請・交付も可能で、令和5年度からは、代理の条件や疎明資料の基準が緩和されている。**

**質問二** 生涯現役社会に向けた高齢福祉施策について。

**答弁** 鹿島市の高齢化率は今年八月末現在、34.21%となっている。今後とも上昇を続ける推計となっている。後期高齢者医療費は、前期高齢者の約2.8倍となっている。シニア層の「健康」と「生きがいづくり」の一環として「シルバー人材センター」への登録と貢献

**和されている。国保の保険証交付については、例年七月に更新するが、制度改正等に伴い二回実施することもある。来年秋に被保険者証が廃止された場合、マイナ保険証の利用登録のない人は、職権により交付される「資格確認証」を使って医療機関を受診していただくことになる。**

**高活躍の場がある。高齢化社会の到来により、企業において定年延長やその後の再雇用が定着しつつあり、これまで支えられる側であったシニア層の方々も、社会の担い手として活躍の場が広がりを見せている。シニア層の人たちが元気で生きていく秘訣は「働く」ことだと耳にする。年齢に合った仕事内容と時間で、社会の役に立っているという「生きがい」が大切であり、ここにシルバー人材センターの存在意義があるものと考えている。**



笠継 健吾 議員

### 鹿島市の市道の整備について

**質問一** 過去3年間の市道の整備要望は何件あったか、その内の対応済み未済の件数は何件か。

**答弁** 年間で要望件数356件、その内処理済174件、残要望186件で処理済み率49%である。

**質問二** 要望に対応できていない要因はなにか。

**答弁** 施工から30〜40年経過し、一斉に老朽化が進んできたこと。道路改修費用に充てる一般財源に限度があることが要因である。

**質問三** 限られた予算の中で工夫するとの回答であるが、今までと変わらぬ実効性を感じない。対応できる予算を取るべきである。

**答弁** 再判定し優先順位の見直しを図る。住民参加型が頂ければお願いする。補助対象でできるか確認を徹底する。

### 鹿島市の水道事業について

**質問一** 上水道の水の確保に問題ないか。水源の状況等を含め伺う。

**答弁** 上水道の水源は12カ所の井戸であり、水量は確保できている。

**質問二** 大木庭の水道施設予定地はどうなっているか。

**答弁** 当面は水量不足がなく、平成15年度以降事業を中断している。今年度、水道施設更新計画の中で検討をしている。

**質問三** 市の予算の都合上、上水道予定地域に水道を引かず、水の利用に悩まれる地区がある。早急に検討すべきと思うがどうか。

**答弁** 上水道での早急な整備は困難と考える。市で協議検討し、対応方法など話し合いたい。

### 子育て支援について

**質問一** 放課後児童クラブの待機児童はあるか、その内容はどうか。

**答弁** 明倫小4月末10名、9月末2名、10月3日現在0名。能古見小4月末3名、9月末0名となっている。

**質問二** 親として放課後児童クラブは非常に重要である。能古見小の放課後児童クラブは、他の同一規模小学校に比べ1クラブと少ないが増設する考えはあるか。

**答弁** 待機児童が常時出てくれば、学校の空き状況等により、相談検討する。



宮崎 幸宏 議員

### 鹿島市の財政状況と 今後の行財政運営について

#### 令和4年度決算に基づく 鹿島市の財政状況

**質問** 財政状況（財政指標、健全化判断比率）について。

**答弁** 近年の大型事業の実施による起債残高や公債費の増加や今回完成した市民文化ホールの起債の元金の償還が令和9年度から始まることに伴い、財政指標も徐々に上昇する見込みであるが、健全化判断基準の範囲内（財政が健全な状況）に収まる見込みである。

**JR肥前鹿島駅周辺整備事業**

**質問一** 佐賀県が公表した本整備事業エリアプロデュースのコンセプト・イメージについて。

**答弁** エリアプロデュースの基本コンセプトは「JR肥前鹿島駅エリアをスローリズムの拠点にする」という考えである。

鹿島市は、このコンセプトを追求し、市担当のエリアとなる「駅前の広場」等を鹿島地域の「スローリズムの玄関口」と感じてもらえる場所にしていきたい。

**質問二** 鹿島市の「駅前の広場」の設置条件、必要性について。

**答弁** 「JR肥前鹿島駅周辺整備検討委員会」において、安全面や景観、賑わいの創出等により「駅前の広場」の配置計画となっている。

**鹿島市のDX（デジタル・トランスフォーメーション）**

**質問** DXに関する取組みと計画について。

**答弁** DX推進組織の新設・強化、市職員の動機付けと庁内DX、さらには行政サービスにおいてマイナンバーカード普及に併せて住民票等の公的

証明書のコンビニエンスストア交付を実行している。今後もDX推進により、行政サービスの維持・向上を図るとともに様々な産業分野でもデジタル技術を活用し、人口減少に伴う生産力や地域力の衰退等の社会問題に対処していく。

**質問** 財政状況及び今後の大型公共事業（JR肥前鹿島駅周辺整備事業等）を踏まえた行財政運営について。

**答弁** 決して余裕がある財政状況ではないため、限られた財源の中で創意工夫を凝らし、事業の選択と集中、自主財源を確保しながら、脱炭素社会の実現やDX推進といった新たな施策に取り組み、将来にわたり「持続可能な行財政運営」を効果的かつ計画的に行っていく。





樋口 作二議員

### SDGs 未来都市としての米(こめ)文化について

**質問一** 鹿島市民が食べる米の量を鹿島市で生産されているのか。

**答弁** 令和4年度の生産は1775tあり、一人平均年50・8kgの消費で1400t。十分自給可能である。

**質問二** 食べ物として、米の優れている点をどのように判断しているか。

**答弁** 栄養価、生産性、保存性に優れ、様々な料理にも合う理想的な食糧である。

**質問三** 茶碗一杯の米の値段はどれくらいか。

**答弁** 全銘柄の平均を60kg13857円として、茶碗一杯の値段は24円程度である。

**質問四** 水田の機能をどのようにとらえているか。

**答弁** 緑のダムとして水害や表土の流出を防ぎ、生物多様性を育み、温暖化防止にも役立っている。

**質問五** 鹿島市の減反の実態はどうか。

**答弁** 減反面積は年々増加し、現在転作率は40%を超えている。転作物物としては大豆が中心であり、飼料用米の作付けも年々増加している。

**質問六** 減反が進んでいるのにミニマムアクセス米を輸入していることに矛盾はないか。

**答弁** 国際的な取り決めで輸入しているが、使用先や保存のための経費など指摘する声が多い。

**質問七** 学校給食における米食はどのようにしているか。

**答弁** 現在、月2回のパン食以外は米飯給食が実施されている。米は学校給食会を通じて配給され

るが、ほとんどが鹿島産の米が使用されていると考えられる。

**質問八** SDGs 未来都市として、米食をどう考えていくべきか。

**答弁** 日本人の身体は米を食べることで形作られているとさえ考えられ、鹿島市の中にも深く米文化が根差している。

**水田は連作障害もなく、米は永久にふるさとを支える作物としてとらえるべきと考える。**



面浮立・神の前



松田 義太議員

### 鹿島市が直面する政策課題について

#### JR長崎本線の課題について

**質問一** 昨年9月23日の西九州新幹線開業に伴う江北―諫早駅間の経営分離により、特急の大幅な減便等各方面で利便性が低下し、市民生活に大きな影響が出ている。

**この一年で見えてきた在来線の課題について伺いたい。**

**答弁** 市民へのアンケート調査、意見交換などを通じて課題の把握に努めてきた。江北駅では、乗継時間が短い、放送案内がない、対面乗換えが少なく不便になった。また、各高校の時間割に列車の時間が合っていない等様々な課題が見えてきた。これらの課題改善に向け、佐賀県と沿線自治体で要望活動を行った。若千の改善は行われたが、

今後課題把握と要望活動を続けていきたい。

**質問二** 5月8日に新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、インバウンドをはじめ多くの観光客が鹿島市を訪れるようになった。

**肥前浜駅には、観光列車36+3、ふたつ星、4047が停車し、地元の方を中心にとしたおもてなしが大変好評であると聞いている。今後、新たな観光戦略や観光ルートの提案等に力を入れるために、外部人材の活用を考えてはどうか。以前も提案したが、地域おこし協力隊、地域活性化起業者制度(大手旅行代理店・大手航空会社の人材が登録)の活用を検討してほしい。**

**答弁** 鹿島市において観光業は重要な産業であるので、地域おこし協力隊



観光列車36+3

#### 部活動の地域移行について

**質問** 部活動の地域移行を考えるにあたっては、これまで同様安心して部活動に取り組めるよう生徒、保護者、学校の先生方への説明会を実施するなど慎重に、地域にあつた形で進めてもらいたい。

**答弁** 部活動検討委員会を開催し、現場の課題把握に努め取り組んでいきたい。



池田 廣志議員

### 鹿島市が活気を取り戻し夢が描けるまちづくりを

**活気があるまちづくりを**

**質問一** 鹿島鍋島家の家老・原氏の長女が秋田県にかほ市の齋藤家に嫁ぎ、三男の憲三氏が世界的電気化学のTDKの創始者である。

**この縁を生かし、秋田県にかほ市との姉妹都市交流を通じて、TDKの誘致に繋げたらどうか。**

**答弁** 他の都市との姉妹都市の締結には、かなり長い時間をかけて来たので、にかほ市との交流も時間をかけてやる必要がある。

**質問二** 鹿島・伊万里を結ぶ国道498号の高規格化と、国道207号バイパスの黒川橋交差点からも新設すると、太良町・七浦・浜・古枝・能古見地区からも高速道路が近くなる。また、長崎

自動車道高架橋付近にスマートインターチェンジの新設をすると、さらに近くなるが。

**答弁** 国道498号の高規格化については、伊万里市、武雄市、嬉野市、鹿島市の四市期成会で県に対し早期整備を要望し、県主導で検討がなされており、国道207号黒川橋交差点からの新ルートを含め、コストや技術的課題など、総合的に検討が進められる。

**長崎自動車道へのスマートインターチェンジの新設は本線直結型で、自治体負担や立地環境も厳しいが、県南西部エリアの広域ネットワークとしての利便性が良くなるので、整備効果や技術的な観点から、県・関係市と協議する。**

**質問三** 浜の寶篋山

は眺望が良く、昔、湯が出たので、湯の峰山と名付けられている。さらに、オレンジ海道沿いと飯田区七曲の眺望も360度遮るものがなく、これらの情報を発信するべきと思うが、いかがか。

**答弁** あらゆる手段を講じて情報発信に努める。

**安心して暮らせるまちづくりを**

**質問** 市内には28か所の可動堰があり、6・7月の大雨で12箇所が倒れていない。その対策は。

**答弁** 中川水系の可動堰を新設すると、地元負担金が一千万円以上の高額となるので、部分的な補修等で長寿命化に努めている。



伊東 茂議員

### インボイス制度導入による小規模事業者への影響と負担について

**質問一** 消費税を加算した年間売上が1000万円以下の事業者は今まで免税であった。10月から事業所は仕入れ先が納税したことを証明する適格請求書等(インボイス)発行事業者でなければ仕入税額控除が受けられない。

**個人事業者はインボイス登録を求められれば消費税控除は廃止、納税が義務となり免税事業者は苦しい立場に置かれる。相談体制について問う。**

**答弁** 令和4年度、売上1000万円以下の事業者は市内2915人である。引き続き免税事業者からの相談には対応していく。

**質問二** インボイス制度導入により請求書・領収書にはインボイス登録番号の表記が必要となり経理事務も煩雑になつてく

る。制度導入への補助金の問い合わせを受けている。

**質問** コンピューター・レジスターなど機器(ハードウェア)に補助は無く、経理ソフトなどソフトウェア等の条件を満たせば補助がある。

**物価高騰による市民生活の厳しい現状について**

**質問一** 燃料・資源コスト高騰に対し、簡単には価格転嫁できない市内自営業者の苦しい経営状況を市は把握しているか。

**答弁** 令和4年7月から今年6月迄の経営状況は横ばいから、やや悪化と商工会議所から報告を受けている。

**質問二** 食料品の値上げで家庭は節約に努めている。子供たちは満足に食事が出来ているか心配である。食育の観点から児

童の健康状況に変化はないか。

**答弁** 夏休み明けに市内全ての学校で健康状態の検査を行った。特に異常はなく安心してはいる。

**質問三** 年末には「まるごと応援券」に続く物価高騰支援策が必要と考える。そのためには自主財源の確保が重要である。ふるさと納税の寄付の状況を問う。

**答弁** 10月からのふるさと納税制度改正を前に駆け込み寄付が加わり現在4億2千5百万円程である。昨年以上の寄付額獲得に向け返礼品の更なる開発に努め、市民サービスの向上を図る。





### 中村 和典 議員 多良岳土地改良区の再編対策について

**質問一** 多良岳土地改良区の現状を市としてどの様に認識しているのか。

**答弁** 国営パイロット事業は完成から42年が経過し、国造のため池4箇所とパイプライン等の維持管理については、多良岳土地改良区が行っている。

**質問二** 8月24日に提出された要望書に対する対応について。

**答弁** 施設の老朽化に伴う改修事業等の国への要望に向けては、現状のままでは難しいので将来地区の水利利用のあり方や施設の維持管理計画を立てる必要がある。

このため市が事務局となり多良岳地区の将来計画等を協議する話合いの場を立ち上げる。

既に作成してある耕作放棄地、遊休農地、水利状況、年齢別耕作者等を図示した多良岳地区耕作状況図を活用して、今後の営農計画、ビジョン等を作成していく。

早速10月には、土地改良区・市県で「多良岳地区活性化・再興検討会」を組織し、今後のあり方全般について話し合いを行う必要に応じて国等への働きかけを行っていく。

**質問三** 多良岳地区の荒廃農地を活用した脱炭素の取り組みについて。



パイロット地区の樹園地

転用は農水省の所管、脱炭素は環境省の所管でこの二つのハードルをクリア出来れば、多良岳地区や鹿島市にとっても千載一遇のチャンスと思うが、市長の考えは。

**答弁** これまで海の森事業やラムサール事業の取り組み経緯もあるので、協議会でビジョンを作成し、積極的にお願いしている。



### 角田 一美 議員 耕作放棄地の解消策について

**質問一** 最新技術を活用したイノシシ駆除対策の強化に取り組めないか。

**答弁** 新たな資材等有効性を確認し、デジタル技術の活用も含めた対策強化に来年度から取り組む。

**質問二** 高齢化の進行で能古見地区唯一の畑作地が消滅の危機にある。

**答弁** 農家の意向調査を実施し地域計画を作成中。市内でも園芸団地構想を進めており能古見地区でも一定の条件が整えば取り組んでいく。

あり積極的に支援していく。

**質問一** 空き家の戸数と倒壊の可能性等現状のままでは利用不可能な建物ほどの位あるのか。

**答弁** 令和4年度調査で総世帯数1万46世帯に対し、空き家775戸、空き家率7.7%で全国平均5.6%を上回る。

**質問二** 倒壊の危険性等早急な対応が必要な「特定空き家」に該当する物件はどの位あるのか。

**答弁** 苦情・相談は54件。うち31件が指導で解決、23件が未解決。市外転出、相続人所在不明等で長期化している。

**質問四** 空き家対策の課題と今後の取組方針は。

**答弁** 所有者の責任において適正管理が原則。相談窓口への案内、法の周知徹底。空き家バンクの登録案内、移住者等への情報発信の強化で利活用の促進。



### 勝屋 弘貞 議員 西部中学校の体育館について



こうもり被害に遭った西部中学校体育館

**質問** 蝙蝠(こうもり)の死骸・排泄物の問題については、ピアノをブルーシートで覆うなど、相当困っているようだ。蝙蝠は様々なウイルスを保有しており、コロナウイルスは蝙蝠が感染しても病気を発症しないように、そのウイルスが変異し人に感染したのがパンデミックの原因とも言われている。

**不法投棄について**

が、生活ゴミ、産業廃棄物など毎年15件ほどあり苦慮している。

**質問** 近年の状況は。また、海岸線、河川において、廃船、漁具等の放置がみられるし、警告看板の留め金が外れ逆さまになったり、傾いたりしている。対応を求む。

**答弁** 定期的な巡回、地元や警察との連携体制、看板やカメラの設置などの防止対策をやっている。

## 第13回鹿島市議会報告会を開催します。



日時：令和6年1月24日(水)  
18時30分～  
場所：エイブルホール  
内容：第1部 議会報告会  
第2部 議員と語る会

市民の皆様の多数のご参加をお待ちしております。



# 決算審査特別委員会委員長報告

本会議において本委員会に付託された議案第33号から議案第38号までの6議案につきまして、9月21日、22日、27日、28日の4日間にわたり委員会を開催した。

先ず、21日に以下の議案関係6ヶ所の現地調査を行った。

- ①七浦根域制限高畝マルチ栽培事業②浅浦古湯水路整備工事③祐徳門前地区ファサード修景工事④横田堤水路整備事業⑤南舟津雨水ポンプ場建設工事⑥のごみふれあい楽習館体育館LED照明改修工事

市長以下、執行部の出席のもと、審査を行った。

一般会計は、歳入170億8,199万4,813円、歳出164億4,117万4,404円で、6億4,082万409円の黒字決算。

国民健康保険特別会計は、歳入決算額37億4,954万2,597円、歳出決算額36億6,906万208円で、8,048万2,389円の黒字決算。

後期高齢者医療特別会計は、歳入決算額4億5,841万8,712円、歳出決算額4億5,629万4,386円で、212万4,326円の黒字決算。

水道事業会計は、収益的収入5億3,419万3,771円、収益的支出4億5,385万9,646円で、純利益は8,033万4,125円。

下水道事業会計は、収益的収入9億9,325万8,708円、収益的支出9億5,546万3,387円で、純利益は3,779万5,321円。

監査委員から6議案に係る決算審査の結果について説明。

「審査に付された歳入歳出決算及び付属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、係数についても関係諸帳簿及び証拠書類と照合の結果、適正に表示されていた。また、予算の執行については、歳入の確保と歳出予算の効率的な執行に配慮しながら各種の施策が推進されており、各会計とも予算計上の趣旨に沿って適正に処理されていた」と報告を受けた。

説明後直ちに審査に入り、本委員会に付託された6議案に対し、各委員からの多項目にわたる質疑があり、28日の質疑終了後に討論、採決の結果、賛成多数で原案の通り認定することとした。

決算審査特別委員会 委員長 角田 一美

## 【決算審査特別委員会の経過】

9月21日 午前10時開会、主要施策の成果説明書の概要説明、決算審査等の概要説明現地調査箇所の事業概要説明。午後1時から現地調査6か所

9月22日 午前10時より終日、一般会計歳入歳出決算認定について質疑(総務部ほか、建設環境部)

9月27日 午前10時より終日、一般会計歳入歳出決算認定について質疑(教育委員会、市民部、産業部ほか)

9月28日 午前10時より終日、特別会計3議案、公営企業会計2議案質疑終了後、議案第33号から38号までの一括討論、採決。



▲みかんの根域制限高畝マルチ栽培事業



▲浅浦古湯水路整備工事



▲南舟津雨水ポンプ場建設工事

## 賛成討論

### 議案第33号(38号)

令和4年度鹿島市一般会計、特別会計及び公営企業会計決算認定について

中村 一堯 議員

令和4年度鹿島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算については、歳入合計は37億495万4千3百円。歳出合計は36億690万6千円となり、差引額804万8千3百円の剰余金が国民健康保険基金に積み立てられ、適正な運営がなされた。

鹿島市内の国保税世帯3748世帯のうち低所得世帯2062世帯に国保税軽減を行っており軽減合計額は1億950万円、未就学児についても139世帯198名の均等割が210万2千円軽減され、低所得の世帯に寄り添う国保事業となっている。

福井 正義 議員

令和4年度一般会計は、歳入約170億8199万4813円・歳出164億4117万4404円。差し引き6億4082万409円の黒字決算であった。

第7次鹿島市総合計画に基づき、持続可能なまちづくりとして、脱炭素社会実現への取り組み、DXデジタルトランスフォーメーションを推進という新たな取り組みに着手された。市内小学校施設の改修に取り組みされた。

新型コロナウイルス感染症の影響等で売り上げ不振の小規模事業者に対して、小規模事業者緊急支援事業に取り組みされた。

議案第33号から38号は黒字決算である。よって全ての決算に賛成する。

## 反対討論

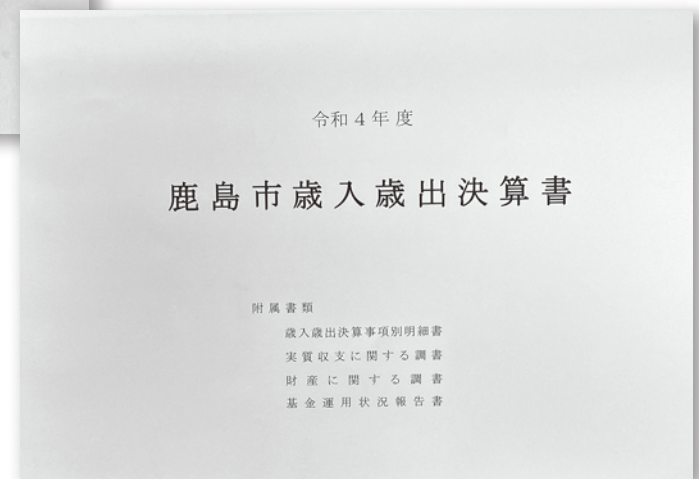
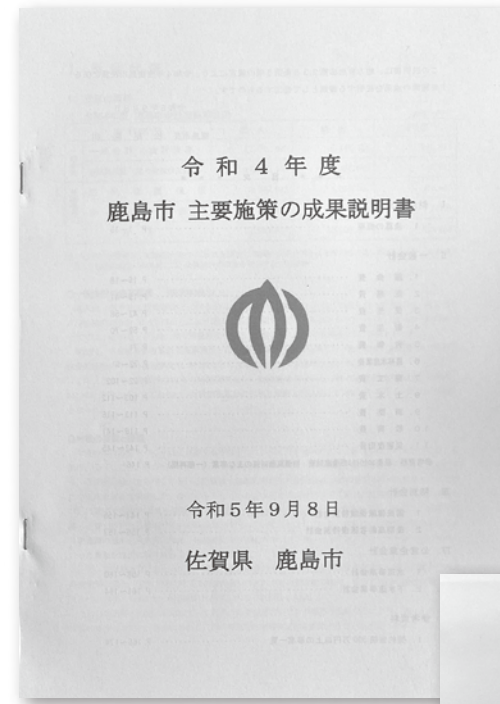
### 議案第33号(38号)

令和4年度鹿島市一般会計、特別会計及び公営企業会計決算認定について

松尾 征子 議員

令和4年度は市長が変わり、市民のことを知り尽くした松尾市長誕生に市民は期待を持って見守ってきた。しかし、ほとんど変わらなかった。もちろん、簡単に変わるものではないことは市民もわかっている。あまりにも期待が大きかったのは確かなことだ。

しかし、問題という市民も多かった前市長の目玉政策であるスポーツ合宿誘致事業は止めるべきだった。訴え続けている市政の公正公平問題はまったく進展がない。2つの同和団体に出されている活動費丸抱えの団体補助金、二団体に2784795円(7世帯7人)。市民の暮らしが落ち込んだ今日、金の使い道はあつたはず。





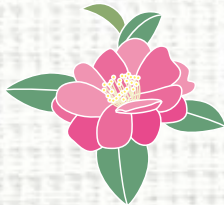
# 議会あれこれ (令和5年7月～10月11日)

## 7月

- 3日 議会だより編集会議
- 6日 杵藤地区広域市町村圏組合議会7月臨時会
- 10日 議会だより編集会議
- 11日 国道207号期成会総会
- 13日 部落差別撤廃・人権擁護審議会
- 14日 国道498号期成会総会
- 18日 議会だより編集会議
- 20日 議会だより編集会議  
SAGA2024実行委員会総会
- 28日 佐賀県西部広域環境組合議会臨時会
- 31日 環境未来都市特別委員会視察  
(佐賀県地球温暖化防止活動推進センター)

## 8月

- 2日 知事・市町議会議長懇話会
- 3日 佐賀県市議会議員研修会
- 7日 佐賀県市議会議長会先進都市視察研修(～9日)  
地域交通まちづくり特別委員協議会
- 18日 杵藤地区広域市町村圏組合議会勉強会
- 22日 議会運営委員会
- 24日 文教厚生産業委員協議会
- 25日 杵藤地区広域市町村圏組合議会8月定例会
- 28日 環境未来都市特別委員協議会
- 29日 藤津・鹿島地区衛生施設組合議会全員協議会  
藤津・鹿島地区衛生施設組合議会8月定例会
- 30日 全員協議会  
総務建設環境委員協議会  
文教厚生産業委員協議会
- 31日 総務建設環境委員協議会  
文教厚生産業委員協議会



## 9月

- 6日 議会運営委員会
- 8日 9月定例会 開会(～10月11日)  
全員協議会
- 14日 9月定例会 議案審議  
議会報告会プロジェクト会議
- 15日 全員協議会  
9月定例会 議案審議  
議会情報発信・議場開放プロジェクト会議
- 21日 決算審査特別委員会(現地調査)
- 22日 決算審査特別委員会(一般会計)
- 27日 決算審査特別委員会(一般会計)
- 28日 決算審査特別委員会(特別会計・公営企業会計)

## 10月

- 3日 9月定例会 一般質問(～6日)
- 6日 議会運営委員会  
議会報告会プロジェクト会議
- 11日 9月定例会 閉会  
全員協議会  
総務建設環境委員協議会  
文教厚生産業委員協議会

## 行政視察受入状況 (令和5年7月～9月)

8月17日 武雄市議会 福祉文教常任委員会(7名)

## 議長交際費を公表します。

金額単位：円

区分	7月		8月		9月		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔慰	1	22,000	1	22,000	0	0	2	44,000
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝儀	0	0	0	0	0	0	0	0
会費	1	4,000	0	0	0	0	1	4,000
接遇	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	7,260	0	0	0	0	1	7,260
合計	3	33,260	1	22,000	0	0	4	55,260

## 編集後記

令和5年度9月議会は、令和5年9月8日から10月11日までの34日間の長い議会でした。  
決算特別委員会があり、一般質問は14名でした。また、議案審議も活発な議会でした。  
有明海では海苔養殖が始まり、紅葉の季節であります。  
インフルエンザ等にご注意してお暮らしてくださいませ。



## 令和5年度 かしま議会だより編集委員会

委員長	福井 正
副委員長	池田 廣志
委員	釘尾勢津子
委員	松田 義太
顧問	中村 和典

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。